

会 議 録

- 議事内容 2025年度 8月定例教育委員会
- 日 時 令和7年8月21日（木）9：30～12：10
- 場 所 4階会議室4-1
- 出席者 教 育 長 小西 博泰
教 育 委 員 藤本真理・石原友紀・酒井秀彦・加納昌樹
事 務 局 入江教育管理部長・藤井教育指導部長
松田教育総務課長・市橋いきいき社会創造課長
福西スポーツ振興課長・教育総務課 小畑

■〔会議の内容〕

1 開会あいさつ

・教 育 長

2 前回議事録確認

（全委員一致で承認）

3 報告事項

・令和7年度主要事業の進捗状況の説明及び教育委員からの意見聴取

■〔学校教育課関連〕

①「夢と希望の教育」の充実と深化【教育課程管理】

（進捗状況）

- ・夏休み期間を利用して、教職員向けの研修会を実施している。
 - 7月24日 不登校研修会（講師：神戸セミナー 喜多徹人氏）
 - 7月24日 幼保小合同研修会（講師：兵庫教育大学 飯野准教授）
 - 8月 4日 学校安全推進研修会（講師：元さいたま市教育長 桐淵博氏）
- ・7月28日、初任者研修会・若手教員研修会を実施し、「夢と希望の教育」について、再確認している。

（今後の予定）

- ・新幼稚園「おの幼稚園」における、3歳児保育・新2号受入れについて、準備を進めている。
- ・特別支援学級の学級編成に伴う教育支援委員会の就学前相談を、随時、行っている。（8月19日、20日、28日、9月2日、3日、4日）

②「チーム学校」を踏まえた学校組織マネジメントの強化とリスクマネジメント【危機管理】

(進捗状況)

- ・小野特別支援学校が、令和5年度に学校安全認証校（SPS）になっており、学校安全における研究や取組が進んでいる。市内各学校についても、学校における「ヒヤリハット」の集約を進めている。

③人材育成と働き方改革【人的管理】

(進捗状況)

- ・市内の学校管理職選考試験の結果、県の管理職（校長・教頭）試験をそれぞれ4名、合計8名が受験することになっている。今後、役職定年を迎える校長が増加傾向にあるため、教員の管理職育成が課題となっている。
- ・1学期末において、時間外労働時間が月45時間を超過している教職員が多く見受けられる。超過が予測される教職員においては、管理職が面談を行い、働き方改革を進めていかなければならない。校長会で、学校マネジメントについて、再度、注意喚起を行う。

④学校教育課情報

1 市の取組

○8月6日 兵庫教育大学・小野市連携 サイエンス祭（エクラ）

2 学校の取組

○小・中・特別支援学校 修学旅行

9月 2日（火）～ 4日（木）	河合中（東京方面）
9月11日（木）～12日（金）	河合小（奈良・京都方面）
10月 6日（月）～ 7日（火）	小野小（奈良・京都方面）
10月 8日（水）～ 9日（木）	来住小・市場小（奈良・京都方面）
10月14日（火）～15日（水）	大部小（奈良・京都方面）
10月15日（水）～16日（木）	小野東小・下東条小（奈良・京都方面）
10月22日（水）～23日（木）	中番小（奈良・京都方面）

○小学校 自然学校

9月 1日（月）～ 9月 5日（金）	市場小・中番小（嬉野台）
9月15日（月）～ 9月19日（金）	下東条小（南但馬）
9月29日（月）～10月 3日（金）	小野小（嬉野台）来住小（淡路）
10月 6日（月）～10月10日（金）	大部小（嬉野台）
10月27日（月）～10月31日（金）	小野東小・河合小（南但馬）

3 学校の状況等

○7月 4号報告なし

○7月の不登校の状況 ()内は前年数値

小学校15名(18名)、中学校58名(68名) 合計73名(86名)

夏季休業期間に入り、4号報告がなかった。学校は安定した夏休みを送っていると思われる。イオンの休業により、エクラが中学生の溜まり場となっており、時折、不適切な行動が見受けられるとの報告を受けた。そのため、中学校の教員が現場に行き、子どもたちを指導している。今後は、教員による見回りを強化し、エクラ等の関係施設には、厳しく対処していただくよう依頼している。

不登校については、教育サポートセンターや校内サポートルームへの連携、アウトリーチ(支援が必要な人に対して、支援者側から積極的に働きかけ、必要なサービスや援助を提供する取組のこと)が充実したこともあり、中学校の不登校数が大幅に減少している。以前、教育サポートセンターは、「適応教室」という名称で不登校に関わる場所というイメージが強かった。現在は、不登校以外の教育相談も受け、幅広い活動ができる体制になっている。そういったことも、不登校数が減少している要因の1つだと考えられる。

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：将来的に役職定年を迎える校長が増加することであるが、役職定年後は、校長を続けることはできないのか。(教育委員)

A：役職定年は60歳である。学校の統廃合を予定している場合等は、暫定的に2年間のみ役職を延長することはできるが、基本的には、60歳で終了する。役職定年後は、管理職ではない教諭として働くことはできる。また、管理職経験を活かして、「指導教諭」や「主幹教諭」といった職を担うことも多い。役職定年の校長が増加すると、教頭が校長になるため、教頭も人員不足になる。そのため、管理職育成が喫緊の課題である。(教育長)

Q：校長や教頭以外で、校長や教頭になる資格を持っている教員はいるのか。(教育委員)

A：教育委員会に在籍している主幹は、校長もしくは教頭の昇任試験に合格している。(事務局)

Q：管理職は学校運営において、重要な役割を担っていると思うが、管理職になりたいと思っている教員は多いのか。(教育委員)

A：近年、役職定年の増加に伴い、全国的に管理職に就く年齢が下がっている。中には、管理職業務に繋がっていくような段階的な経験を充分に経ず、管理職としての覚悟が足りないまま管理職になり、気持ちにズレが生じている者もいる。また、近年、保護者からの過剰な対応や不当な要求も増えており、その対応を負担に感じている管理職も多い。そういった姿を見て、管理職に魅力を感じることができ

ない若手教員が増えている。管理職を目指す意識を醸成させる若手教員育成のあり方も、今後の課題である。(事務局)

※：管理職を目指す若手教員が少ないということであるが、今の若い世代は、リーダーシップが不足しており、「事なかれ主義」の傾向がある。しかしながら、企業・学校・地域の自治会等といった組織には、リーダーシップは欠かせない。根本的に「自分がやらねば」といった気概やリーダーシップを育成する教育を、学校の教育の中に取り込んでいく必要があるのではないだろうか。(教育委員)

Q：役職定年の増加による、管理職の大幅な入替は他市でも同様に起きているのか。他市も同時期であれば、教員の取り合いになるのではないか。(教育委員)

A：他市町においても、数年の違いはあるが、傾向は似ている。管理職の年齢が下がることについては、役職バブル期の大量採用、就職氷河期の非採用等、歪な採用により組織内の年齢構成のバランスが崩れたことが、大きな要因である。また、労働環境問題、若手教員の就職定着率の低下、教員希望者の減少等が、現在の教員不足に影響している。(事務局)

A：現在、教員不足により、教職員の定数配置がされていない未配置校が増え、臨時の教職員を置いて人数調整している学校もある。兵庫県においては、ここ数年、教職員採用数を増やしており、昨年度の小野市における教職員の配置数も例年より増えている。(事務局)

Q：修学旅行の持ち物について、残暑が厳しいため、熱中症対策としての「日傘」「ハンディファン」等は、配慮をお願いしたい。保護者は、修学旅行のしおりに書いていない持ち物は持って行ってはいけないと思っているため、持って行ってもよいものについては、具体的に記載してほしい。(教育委員)

A：次回の校長会で検討する。「忘れた」「落とした」等といった管理責任の問題も発生するため、その対策についても同時に検討する。(事務局)

■〔教育総務課関連〕

①おの幼稚園整備事業

(進捗状況)

- ・新幼稚園整備工事の進捗率は、48.7%で工程どおり進んでいる。現在、屋根・外装工事、駐車場整備工事を行っている。

②学校施設長寿命化対策事業

●旭丘中学校

(進捗状況)

- ・体育館建替工事については、7月25日、仮囲い及び現場事務所の設置が完了し、8月には解体工事を実施する予定である。

(今後の予定)

- ・毎週木曜日に定例の工程会議を実施し、進捗管理を行っていく。

●河合中学校

(進捗状況)

- ・校舎長寿命化工事設計業務委託については、進捗率 27% で、7月16日に敷地境界の確認、7月17日に基本プラン案・設備関係(空調、トイレ)の検討、7月31日にエレベーター棟・仮設校舎建設地の地盤調査を行っている。

(今後の予定)

- ・8月に校舎アスベスト調査、耐力度調査を実施する予定である。

③学校施設バリアフリー化整備事業

(進捗状況)

- ・市場小エレベーター設置工事の進捗率は、35%で工程どおり進んでいる。現在、基礎工事、鉄骨工事を行っている。
- ・大部小エレベーター設置工事实施設計業務委託
令和7年7月18日入札落札 4,378,000円
株式会社 s o r a 建築デザイン事務所 令和7年7月22日～令和8年3月20日

④学校体育館空調設備整備事業

(進捗状況)

- ・学校体育館空調整備工事設計・工事監理業務委託(その1)の進捗率は66.4%、学校体育館空調整備工事設計・工事監理業務委託(その2)の進捗率は33.2%で、順調に進んでいる。
- ・学校体育館空調整備工事の進捗率は、小野中学校:70%、河合中学校:80%、小野南中学校:90%で、7月24日に小野南中学校で試運転、8月5日に小野中学校・河合中学校で試運転を行い、部活動での使用を開始している。

(今後の予定)

- ・小学校及び特別支援学校の体育館空調整備工事業者が、順次、決定する予定である。

⑤教育総務課情報

1 学校施設工事等関係

○小野中学校空調更新工事

令和7年5月7日入札落札 102,298,900円

株式会社大林設備工業 令和7年5月12日～令和7年10月31日
→進捗率：38%、7月3日：第1回定例会議

○小野小学校空調更新工事

5月29日入札落札 79,200,000円
株式会社テラマエ設備工業 令和7年6月5日～令和7年9月30日
→進捗率：40%、7月8日：第1回定例会議

○小野東小学校空調更新工事設計業務委託

6月9日入札落札 6,380,000円
宮永建築設計事務所 令和7年6月12日～令和8年3月19日
→6月20日：学校・市・設計業者打合せ、現地調査

○来住小・下東条小学校照明LED化工事設計業務委託

6月9日入札落札 5,720,000円
株式会社工藤建築環境設計室 令和7年7月2日～令和8年3月31日
→7月17日：学校・市・設計業者打合せ、現地調査

○インターホン設置工事

児童生徒のアナフィラキシーショック発生時や不審者侵入時などの緊急事態に
備え、教室から職員室へ迅速に連絡が取れるよう、教室へのインターホン未設置
校に対し、インターホンを整備する。

＜対象校＞小野小、河合小、市場小、大部小、中番小、下東条小、小野中

※夏休みを利用して、工事を完了させる予定

→OKIクロステック株式会社 35,750,000円
令和7年7月17日～令和7年9月30日 進捗率：38%

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：河合中学校の校舎長寿命化工事における空調やトイレの検討とは、こういった内容なのか。（教育委員）

A：空調設備については、「天井埋込式」か「吊下げ式」かを検討し、四方の吹出口から効率良く風を届けることができる「天井埋込式」に決定している。トイレについては、トイレの位置や便器の数等について検討している。（事務局）

A：「天井埋込式」の空調は、温度ムラも抑え、快適な空間を保つことができる。（教育長）

Q：新幼稚園の園歌の制作は、どこかに依頼しているのか。（教育委員）

Q：新幼稚園の園歌の作曲については、誰に依頼するのか。（教育委員）

A：小野市短歌フォーラムの選考委員である永田和宏氏に、作詞を依頼している。曲については、永田和宏氏に作曲できる方を紹介していただく予定である。(事務局)

Q：体育館に空調が設置されたが、屋外で部活動している子どもたちも、体育館を利用できるのか。(教育委員)

A：できる。休憩やクールダウンに体育館を使用すると聞いている。今年度、市内の全中学校に、熱中症対策として、ミストファンを2台ずつ設置している。屋外の部活動時に使用しており、好評である。(事務局)

Q：旭丘中学校の体育館の建物にアスベストが一部含まれているとのことであるが、仮囲いは、アスベスト飛散防止用のものなのか。(教育委員)

A：そのとおり。アスベストについては、倉庫の壁材に一部含まれているが、飛散しないよう適切に除去する。(事務局)

■〔いきいき社会創造課関連〕

①いきいき社会創造課情報

○小野市短歌研修会（令和7年度新規事業）

日 時：9月20日（土）13時00分～

場 所：小野市立図書館 2階研修室

主 催：小野市文化連盟

投稿数：42首（うち市内26首）

○図書館 サマースクール「読書感想文書き方教室」

日 時：8月4日（月）低学年、8月6日（水）高学年

場 所：小野市立図書館 2階研修室

参加者：29人（低学年15人、高学年14人）

○好古館 サマースクール「勾玉づくりに挑戦！」

日 時：8月6日（水）

場 所：小野市立好古館

参加者：36人（午前・午後 各18人）

○好古館 サマースクール「小野市の文化財寺院をめぐる親子探検ツアー」

日 時：8月21日（木）9時00分～12時00分

場 所：好古館集合、浄土寺、萬勝寺、広渡廃寺跡歴史公園

参加者：13人

○コミセン下東条 下東条地区夏まつり

日 時：8月2日（土）19時00分～21時00分
場 所：コミセン下東条
主 催：下東条地区地域づくり協議会
参加者：2,500人

○コミセンおの ティラノサウルスレース

日 時：8月3日（日）9時30分～12時00分
場 所：小野市総合体育館（アルゴ）
主 催：小野地区地域づくり協議会
参加者：42人

②行事一覧 ※既に終了した事業を含む（別紙詳細）

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：サマースクールは、平日開催が多い。平日は仕事をしている保護者も多いため、好古館の「小野市の文化財寺院をめぐる親子探検ツアー」は、土日開催にしてはどうか。そうすれば、もっと人気ができるのではないか。（教育委員）

A：好古館は、土日通常開館しているため、土日開催にしても問題はないと考えている。開催曜日を検討するよう伝える。（事務局）

Q：コミセンにおいて、書道の利用者が減ったと聞いた。夏休みの課題で、書道は無くなったのか。（教育委員）

A：書道は、今も夏休みの課題としてあり、以前から選択制の課題である。全国的な流れとして、宿題は縮小する方向で動いており、小野市も減ってきている。（事務局）

Q：読書感想文の宿題は、小学1年生からあったのか。（教育委員）

A：小学1年生から課題図書があり、読書感想文の宿題はある。（事務局）

A：読書感想文を夏休みの宿題にするかどうかは、学校が判断し、決定している。（教育長）

※：図書館のサマースクール「読書感想文書き方教室」は、感想文を書くまでの過程で、どんなことが書いてあったのか、どのように感じたのか等を子どもたちがメモに書いていき、そのメモを組み合わせ、感想文にまとめていくという取組であった。自分の考えをまとめるため、メモに書くということが子どもたちの学びになっており、良い取組だと感心している。（教育長）

■〔スポーツ振興課関連〕

①学校保健体育事業の推進

◆「ひまわりカード」による調査結果（第1回：6月16日～20日）※別紙詳細

	全体平均摂取率 (第1回のみ)	前年度平均摂取率 (第1回・2回平均)
5日間連続朝食摂取	93.9%	94.2%
バランスのよい朝食摂取	60.5%	61.8%
ごはん（米飯）朝食摂取	55.4%	56.9%
5日間睡眠時間確保	62.1%	64.1%

→第1回目ということもあり、前年度より低い傾向である。目標達成に向けて、食育及び朝食摂取について、保護者への効果的な周知方法を検討しながら、取り組んでいく。調査結果については、各校・各園（所）等と比較できる形で、各学校等へフィードバックする予定である。

◆「おの体力検定（新体力テスト）」結果 ※別紙詳細

		5年生男子		5年生女子	
		令和7年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度
握力	kg	17.40	14.95	15.85	14.50
上体起こし	回	18.85	16.53	16.98	16.75
長座体前屈	cm	33.08	31.50	35.43	35.63
反復横とび	回	42.73	40.25	38.55	40.85
20m シャトルラン	回	50.70	45.25	40.00	37.23
50m走	秒	9.46	9.63	9.68	9.86
立ち幅とび	cm	154.30	150.95	139.05	143.25
ソフトボール投げ	m	26.03	19.80	14.38	14.68

→全国及び県平均値は、集計中である。男子は、全ての種目において、昨年度より優れている。女子は、握力・上体起こし・シャトルラン・50m走においては、昨年度より優れている。結果については、各学校へフィードバックする予定である。

		8年生男子		8年生女子	
		令和7年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度
握力	kg	31.98	28.41	24.50	24.08

上体起こし	回	26.48	24.30	20.93	22.48
長座体前屈	cm	42.95	39.00	40.28	44.95
反復横とび	回	51.80	50.73	44.40	45.40
1500m(男子) 1000m(女子)	秒	370.50	372.83	296.20	290.60
50m走	秒	7.43	7.79	8.94	8.51
立ち幅とび	cm	210.55	189.78	162.10	170.10
ハンドボール投げ	m	22.08	19.88	12.70	12.53

→全国及び県平均値は、集計中である。男子は、全ての種目において、昨年度より優れている。女子は、握力・ハンドボール投げにおいては、昨年度より優れている。握力については、小学校からの伸び幅も大きく、自転車通学が影響している可能性があるのではないかと考えている。結果については、各学校へフィードバックする予定である。

◆「おの検定（水泳検定）」結果 ※別紙詳細

学年	目標級	令和7年度	前年度
1年生	11級	11.31級	11.51級
2年生	10級	10.04級	10.55級
3年生	7級	8.46級	8.35級
4年生	5級	6.10級	6.82級
5年生	3級	5.34級	5.49級
6年生	2級	4.30級	4.29級
平均	6級	7.59級	7.83級

→令和2年から4年は、コロナ禍で水泳授業が中止または縮小されたため、検定を実施しなかった。令和5年度に検定を再開したが、平均級が8.11級と大幅に下がっていた。今年度は、昨年度より上がっており、徐々にコロナ禍前に近づいている。

(進捗状況)

- ・7月19日～8月31日、夏休みの自由課題として、おのっこ産クッキングコンテストで「キャベツ」をテーマにした朝食レシピを募集している。

②第12回小野ハーフマラソン2025

(エントリー状況) 8月4日現在

	令和7年度	令和6年度
ハーフ 男子	2, 2 4 1	1, 9 3 6
ハーフ 女子	6 5 9	4 6 1
5 k m 男子	1 8 5	2 4 1
5 k m 女子	1 7 1	1 6 3
1. 5 k m 小学4～6年	1 2 2	1 4 9
1. 5 k m 小学1～3年	1 4 2	1 7 2
合 計	3, 5 2 0	3, 1 1 2

※申込率58.7%（昨年度52.0%）。

（今後の予定）

- ・9月26日、第2回実行委員会を開催する予定である。役割分担の確認等、本番に向けた準備を進めていく

③スポーツ振興課情報

1 学校保健体育

○全国中学校総合体育大会

【陸上競技】小野中（1名）

開 催 日：8月17日（日）～20日（水）

開催場所：沖縄県

【水 泳】小野中（1名）

開 催 日：8月17日（日）～19日（火）

開催場所：鹿児島県

【柔 道】小野中（男子団体、女子団体、個人4名）

開 催 日：8月19日（火）～22日（金）

開催場所：福岡県

○小野市中学校新人体育大会

日 時：9月20日（土） 予備日：9月21日（日）、9月23日（火・祝）

※陸上競技は、井上記念小野市陸上競技大会と兼ねて開催

場 所：アルゴ、アクト、アレオ、小野中学校等（小野市内公共施設）

主 催：小野市中学校体育連盟

2 社会体育

○2025ソフトバレーボール大会 i n O N O

日 時：9月28日（日）9時30分開会

場 所：小野市総合体育館アルゴ アリーナ
主 催：小野市スポーツ推進委員会

3 今後の予定

○小野市内中学校体育祭・幼稚園運動会

10月1日（水） わか松幼稚園、小野東幼稚園

10月4日（土） 小野中学校、小野南中学校、旭丘中学校

○第23回井上記念陸上競技大会兼小野市中学校新人体育大会

日 時：10月13日（月・祝）9時00分開会

場 所：小野希望の丘陸上競技場

主 催：小野市陸上競技協会、小野市小学校体育研究会、小野市中学校体育連盟

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：スマートフォンやパソコンの利用が原因だといわれているストレートネック等は、おの体力検定の柔軟性の結果に関係していないか。（教育委員）

A：柔軟性があると、ケガのリスクが低い。結果を分析し、関連がないかどうか調査をする。（事務局）

Q：「バランスのよい朝食摂取」は、忙しい朝に朝食の準備をする保護者にとって負担に感じる方が多い。お味噌汁やスープ等の軽いメニューでもよいという通知はしているのか。（教育委員）

A：ひまわりカードと一緒に配布する啓発チラシで通知している。ひまわりカードにも記載しているとおり、赤・緑・黄色の食品群が入っていればよいと考えている。（事務局）

A：そもそも、朝食摂取調査自体をプレッシャーに感じている保護者がいる。そのため、フィードバックの方法を工夫する必要がある。（事務局）

Q：「ひまわりカードによる朝食摂取調査」は、どれくらい前に学校に通知するのか。中学生になると、通知文だけでなく、ひまわりカード自体も保護者に渡さないことがあり、知らないうちに調査が終了している場合がある。以前にも伝えたが、保護者への周知や啓発が一番大事だと思っている。（教育委員）

A：学校には、調査の1か月前に通知している。「バランスのよい朝食摂取」は、脳梗塞のリスクを低下させる。子どもの頃からの習慣や積み重ねが予防へと繋がっている。そういう情報も含め、「バランスのよい朝食摂取」がいかに大事かを周知する。また、子どもたちが大人になった時、「そういえば、中学校時代に“バランスのよい朝食が大事だ”と言っていたな」という気づきにも繋がるよう啓発していく。（事務局）

4 協議事項

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果（速報）について（学校教育課）

※別紙詳細

◆教科に関する調査結果（全国）

		平均正答率	平均正答数
小学校	国語	67.0%	9.4問／14問
	算数	58.2%	9.3問／16問
	理科	57.3%	9.7問／17問
中学校	国語	54.6%	7.6問／14問
	数学	48.8%	7.3問／15問
	理科	505（平均IRTスコア）	

※中学校理科はCBTで実施し、IRT（項目反応理論）に基づき算出したスコアにより結果を表示

◆質問調査結果（全国）

学習指導要領の趣旨を踏まえた取組	・昨年度までと同様、約80%の児童生徒が「主体的・対話的で深い学び」に取り組んだと考えている ・「主体的・対話的で深い学び」に取り組んだと考える児童生徒ほど、各教科の正答率・スコアが高い傾向
ICT機器の活用	・ICT機器を「ほぼ毎日」「週3回以上」活用する学校は、小学校97%、中学校95%（いずれも前年比4ポイント増） ・ICT機器を使用する頻度と各教科の正答率・スコアとの間に、一定の関係が見られる
各教科への興味・関心、理解度	・「授業の内容がよく分かる」と回答した児童生徒ほど各教科の正答率・スコアが高いが、全教科で「よく分かる」児童生徒の割合が前回調査から減少
学校外での過ごし方	・学校の授業時間以外の勉強時間は、小・中学生とも令和3年度以降、平日、休日いずれも減少傾向

◆教科に関する調査結果（小野市）

- ・小学校・中学校とも、概ね良好な結果であった。
- ・小学校については、思考力・判断力・表現力等を問う問題の正答率が高まった。特に文章を読み解いて記述する力（書く力）・説明する力の向上がみられた。
- ・中学校については、思考力・判断力・表現力等を問う記述式の問題の正答率が低く、思考力・判断力の問題に課題も見られる。

- ・中学校の国語と数学について、無回答が増えていることが、気付きである。

◆質問調査結果（小野市）

- ・非認知能力については、小学校・中学校とも、優れている。
- ・自尊感情が低い学校が一部あり、気付きである。
- ・中学校において、探究的な活動や発表ができていない学校があり、授業づくりにおいて課題がある。

◆「おの検定」結果

- ・小学1年生では、1回目合格が多い。
- ・小学3年生以上の学年で、1回目合格率が低下している。
→教員の意識が下がってきている。
「チーム学校」として、組織での取組ができていない。

■【教育委員からの照会及び意見】

Q：人事異動における、教員の学校への配置は、教員の希望や学校の状況等を判断して、教育委員会が決定しているのか。（教育委員）

A：そのとおり。教員の学校への配置は、校長ヒアリングを行い、学校の状況や課題等について意見徴収し、教員の特長や希望、教員配置のバランス等を考慮し、教育委員会が決定し、任命権者である県の教育委員会の承認を得る。ただし、各校における担任等の校務分掌を決定するのは、校長である。（教育長）

Q：「おの検定」においては、担任の先生によって、1回目合格への熱意が違っていたことが印象に残っている。（教育委員）

Q：「おの検定」が始まってから20年以上経過しているが、教員の中で「おの検定」に対する注力の差が出てきているのではないか。（事務局）

A：「おの検定」を実施しているが、それをどのように自分の仕事に活かすかという視点がなく、うまく使いこなせていない先生がいる。「おの検定」は、クラス全員が1回目で合格しようという目標を立て、そのために何ができるかを考える。例えば、余裕で1回目合格できる子どもが、わからないと言っている子どもに教える等の取組ができれば、1回目合格率も上がる。そうすることで、本当にわからない子どもだけが浮き彫りになり、先生はその子どもに注力できる。さらに、その子どももぐっと伸び、その結果、全員の1回目合格率が上昇する。「おの検定」は、子どもたちの基礎学力の向上や、チャレンジ精神の育成だけでなく、先生自身の授業づくりの基礎力を高めることができる。改めて「おの検定」の意義について、共通理解を図る。（事務局）

※：現在、各学校及び教育委員会において、詳細な現状分析を進めている。現状分析

に加え、今後の対応策等についても検討する。(教育長)

5 次回定例会教育委員会予定

9月19日(金) 13時30分～ 4階会議室4-1

10月24日(金) 13時30分～ 4階会議室4-1

6 閉会あいさつ 教育長